

下水道事業中長期経営計画 令和元年度末の進捗状況

【施策目標】

平成29年3月に策定した大津市下水道事業中長期経営計画（経営戦略）（計画期間：平成29年度～令和10年度）について、令和元年度末の進捗状況を公表します。

進捗状況の算定根拠	
目標どおりに進捗 [実績 ÷ 目標 ≥ 95%]	◎
目標にむけ、概ね進捗 [実績 ÷ 目標 ≥ 75%]	○
目標を下回る [実績 ÷ 目標 < 75%]	△

(1) 「安全で安定した下水道サービスの確保」

目標項目	27年度末 (策定時)	29年度末	30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	
雨水渠整備面積 (ha)	1,284.9	1,299.7	1,303.1	1,307.7	1,312.3	◎
		1,284.9	1,298.5	1,305.5		
雨水貯留浸透施設 設置数累計（個数）	543	723	813	903	993	○
		616	653	692		
水防訓練実施回数 (回/年)	1	1	1	1	1	—
		平成29年度より未来まちづくり部にて実施				
重要な幹線管渠の耐震化率 (%)	25.2	25.7	26.4	27.3	28.3	◎
		25.7	25.8	25.9		
処理場・中継ポンプ場 耐震化率 (%)	78.6	78.6	78.6	78.6	85.7	◎
		78.6	78.6	78.6		
マンホールトイレシステム用 管渠整備数累計（基分）	60	80	80	80	80	◎
		80	80	80		
下水道BCP訓練 実施回数（回/年）	5	5	5	5	5	◎
		6	6	5		
管渠調査延長累計 (km)	111	171	201	231	261	○
		171	181	193.6		

目標項目	27年度末 (策定時)	29年度末	30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	
管渠更新延長累計 (km)	4.5	9.9	14.2	18.1	22.5	△
		6.4	6.9	7.1		
中継ポンプ場設備の 長寿命化対策 (対策設備数累計)	14	21	153	220	286	△
		22	40	58		
処理場設備の 長寿命化対策 (対策設備数累計)	4	10	13	17	23	◎
		9	14	19		
高度処理率 (窒素除去含) (%)	62.1	62.1	62.1	62.1	62.1	◎
		62.1	62.1	62.1		

【進捗状況△の理由及び対策】

・管渠更新延長累計

中心市街地の施工条件が悪い箇所を実施していることに加え、国や市の財政状況に応じて事業費が抑制されたことから、目標未達となりました。今後は対象となる管渠の劣化状況を適切に把握しながら、効率的な延命化を実施するとともに、財源の手当てについても国や市と協議していきます。また、目標値の見直しについてもこれらに合わせて検討します。

・中継ポンプ場設備の長寿命化対策（対策設備数累計）

設備の詳細点検を実施した結果、対策を実施する予定であった設備の劣化状況が比較的良好であり、より重要な設備の更新を優先したことから、目標未達となりました。今後は設備の劣化状況を適切に把握しながら、効率的な設備の延命化を実施するとともに目標値の見直しを検討します。

(2) 「生活環境の保全や水環境の再生」

目標項目	27年度末 (策定時)	29年度末	30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	
下水道普及率 (%)	98.3	98.4	98.5	98.6	98.7	◎
		98.4	98.5	98.5		
水洗化率 (%)	97.6	97.9	98.0	98.0	98.1	◎
		97.8	98.0	98.1		
植生浄化施設整備率 (%)	0	41.6	41.6	41.6	41.6	△
		0	0	0		

【進捗状況△の理由及び対策】

・植生浄化施設整備率

植生浄化施設が試運転の状況であることから、目標未達となりました。令和2年度末までには試運転も完了し、目標達成となる見込みです。

(3) 「持続的な健全経営の維持」

目標項目	27年度末 (策定時)	29年度末	30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	
広報紙への広告掲載 件数 (件/年)	1	3	3	3	3	◎
		2	1	3		
内部研修時間 (時間/年) (職員が内部研修を受けた時 間×人数/全職員数)	10.0	10.4	10.6	10.8	11.0	◎
		8.8	10.5	11.3		

【その他】

(経営戦略において、施策目標の目標値としては掲載されていないが、実績報告のために記載するもの)

項目	27年度末 (策定時)	29年度末 実績	30年度末 実績	R元年度末 実績	R2年度末 実績
資金管理の効率化 (資金管理)	定期預金等 による運用	運用利益 5,022千円	運用利益 3,649千円	運用利益 2,473千円	/
資金管理の効率化 (資金調達)	企業債残高 542億 円	企業債残高 457億円	企業債残高 417億円	企業債残高 383億円	